

## プロテオミクス酵素学

2 単位 (選択) 1 年 (前期), 2 年 (前期), 3 年 (前期)

### Proteomics in Enzymology

木戸 博・教授 / プロテオミクス医科学専攻 生体応答医学講座, 矢野 仁康・准教授 / プロテオミクス医科学専攻 生体応答医学講座

【授業目的】 蛋白質と酵素の機能解析法を習得して, 病気の原因や治療法の解明など医学応用できる実力を身につける.

【授業概要】 代表的酵素の一つとして, 蛋白質分解酵素と分子シャペロン蛋白質を取り上げ, 酵素機能の解析法と医学応用として, 各種病態の解明, 治療法への応用についての最新情報を学ぶ. 酵素蛋白質の精製法, 活性測定法, 細胞内機能解析法などの講義を行う.

【履修上の注意】 講義と演習を行う. e-learning は行っていない.

#### 【授業計画】

	大項目	担当
1.	蛋白質・酵素機能の解析法 1	木戸 博
2.	蛋白質・酵素機能の解析法 2	”
3.	蛋白質・酵素機能の解析法 3	”
4.	蛋白質・酵素機能の解析法 4	”
5.	蛋白質・酵素機能の解析法 5	”
6.	蛋白質・酵素機能の解析法 6	”
7.	インフルエンザウイルス感染, インフルエンザ脳症と酵素 1	”
8.	インフルエンザウイルス感染, インフルエンザ脳症と酵素 2	”
9.	インフルエンザウイルス感染, インフルエンザ脳症と酵素 3	”
10.	インフルエンザウイルス感染, インフルエンザ脳症と酵素 4	”
11.	分子シャペロンとシャペロン病 1	矢野 仁康
12.	分子シャペロンとシャペロン病 2	”
13.	分子シャペロンとシャペロン病 3	”
14.	分子シャペロンとシャペロン病 4	”
15.	分子シャペロンとシャペロン病 5	”

【成績評価】 出席とレポート提出 (出席は 2/3 以上をもって合格とする.)

【再試験】 なし

【授業コンテンツ】 <http://cms.db.tokushima-u.ac.jp/cgi-bin/toURL?EID=217573>

【連絡先】

⇒ 木戸 (088-633-7423, kido@ier.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: e-mail により時間調節を適宜おこないます.)

⇒ 矢野 (yano@ier.tokushima-u.ac.jp) MAIL (オフィスアワー: e-mail により時間調節を適宜おこないます.)